2026 年 8 月 25 日作成（第 1.0 版）

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学会津医療センター消化器外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施いたします。

この研究では、これまで当院で診療を受けられた患者さん、および今後 2034 年 12 月 31 日までに当院で診療を受けられる患者さんの診療情報を利用させていただきます。研究対象となる皆様に新たな検査や治療をお願いすることはなく、通常の診療で得られた情報のみを用いて研究を行います。

本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

2026 年　10 月

福島県立医科大学　会津医療センター　消化器外科学講座　　坂本　涉

■ 研究課題名

大腸癌患者レジストリを用いた診断・治療・予後に関する観察研究

■ 研究期間

2026 年 11 月　～　2036 年 12 月

■ 研究の目的・意義

大腸癌には、結腸癌や直腸癌があり、腫瘍の部位や進行度などによって治療方法が異なります。近年では、内視鏡治療、外科治療、薬物療法、放射線治療などの診断・治療法が大きく進歩していますが、より良い診療を行うためには、実際の診療成績を継続的に評価することが重要です。

本研究では、当院で大腸癌の診療を受けられた患者さんの診療情報を解析し、診断、治療内容、治療成績および予後について検討します。得られた結果は、今後の診療の質の向上や新しい診断法・治療法の開発に役立てることを目的としています。

■ 研究対象となる方

2013 年 5 月 1 日から 2034 年 12 月 31 日までの間に、福島県立医科大学会津医療センター附属病院において大腸癌と診断され、診療を受けられた患者さんを対象とします。

対象となる疾患には、結腸癌および直腸癌が含まれます。

■ 研究の方法

診療録（カルテ）から以下の情報を収集し、統計学的に解析します。

- 患者背景（年齢、性別、既往歴など）
- 血液検査、画像検査、内視鏡検査、病理検査の結果
- 通常診療で実施された遺伝子検査等の結果
- 内視鏡治療、手術、薬物療法、放射線治療などの治療内容
- 手術後の経過や合併症
- 再発の有無や生存期間などの予後

この研究のために新たな検査や治療をお願いすることはありません。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 11 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学会津医療センター消化器外科学講座であり、研究責任者は福島県立医科大学 会津医療センター消化器外科学講座　坂本 渉 です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長　鈴木 弘行 であり、それらの情報は福島県立医科大学会津医療センター消化器外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

提供はありません

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料･情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先
〒969-3492　福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21 番地 2
福島県立医科大学　会津医療センター　消化器外科学講座　石亀輝英

2026 年 8 月 25 日作成（第 1.0 版）

電話　0242-75-2100　　FAX 0242-75-2568
e-mail：ishigame@fmu.ac.jp